

I 調査概要

1. 1 調査の目的

県下全域の県民意識の把握とともに、県行政の各施策に対する県民の関心、満足度等を調査し、県政推進の基礎資料とする。

1. 2 調査の経緯

昭和42年から実施、今回39回目

※昭和42年～昭和61年：毎年実施 昭和63年～平成18年：隔年実施 平成20年～：毎年実施

1. 3 調査項目

- (1) くらしについて
- (2) 県の取り組み全般について
- (3) 生活を取り巻くさまざまな課題について

1. 4 調査の設計

- | | |
|------------|--------------------|
| (1) 調査地域 | 岐阜県全域 |
| (2) 調査対象 | 県内に居住する満18歳以上の男女個人 |
| (3) 標本数 | 3,000人 |
| (4) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 郵送法 |
| (6) 調査時期 | 平成28年6月29日～7月15日 |
| (7) 調査実施機関 | 株式会社 テイコク |

1. 5 回収結果

	調査時期	標本数 (A)	回収数 (B)	有効回答数 (C)	回収率 (B/A)	有効回答率 (C/A)
第39回 (平成28年度)	平成28年 7月	3,000	1,533	1,533	51.1%	51.1%
第38回 (平成27年度)	平成27年 7月	3,000	1,512	1,507	50.4%	50.2%
第37回 (平成26年度)	平成26年 7月	3,000	1,650	1,648	55.0%	54.9%

1. 6 標本誤差

調査結果には統計上多少の誤差が生じることがあるため、調査結果をみる場合、一定の幅を持たせてみる必要がある。その幅を標本誤差といい、以下の式で表される。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}} \quad (\text{ただし、 } P : \text{回答比率} \ n : \text{回答者数})$$

すなわち、標本誤差の幅は①回答者数（ n ）及び②回答比率（ P ）によって異なる。上式を用いた各回答者数、回答比率における標本誤差を以下の表に示す。

		P (回答比率 %)									
n (回答者数 人)		5 又 は 95	10 又 は 90	15 又 は 85	20 又 は 80	25 又 は 75	30 又 は 70	35 又 は 65	40 又 は 60	45 又 は 55	50
総数	1,533	1.1	1.5	1.8	2.0	2.2	2.3	2.4	2.5	2.5	2.5

- (注) 1. 層化を行った場合、誤差は上表より若干増減することもある。
2. この表の見方は以下のとおりである。
「ある設問の回答者数が 1,533 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 50% であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも ±2.5% である。」

1. 7 報告書の見方

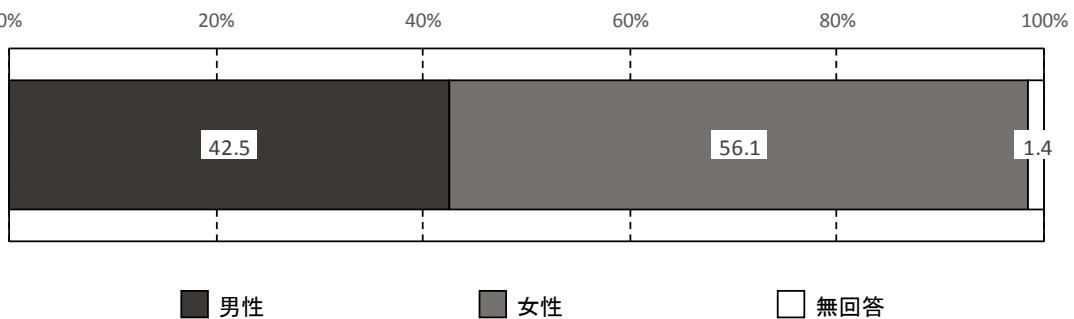
- (1) 今回の調査から対象者の年齢を 18 歳以上に引き下げているため、20 歳以上を対象としていた前回までの調査との単純な比較には注意を要する。
- (2) 比率は全てパーセントで表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が 100.0% にならない場合がある。
- (3) 基数となるべき実数は「 n 」(件数) として掲載した。したがって比率は、 n を 100% として算出している。
- (4) 複数回答が可能な設問では総回答数を「 N 」として掲載した。その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常 100% を超える。
- (5) 本報告書中の表、グラフ、及び本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合がある。
- (6) クロス集計において、年代別の 18~19 歳の属性はサンプル数が少なく、分析に堪えないことからグラフへの表示及び分析を行っていない。

1. 8 対象者の属性

F-1 性別

図 F-1 性別

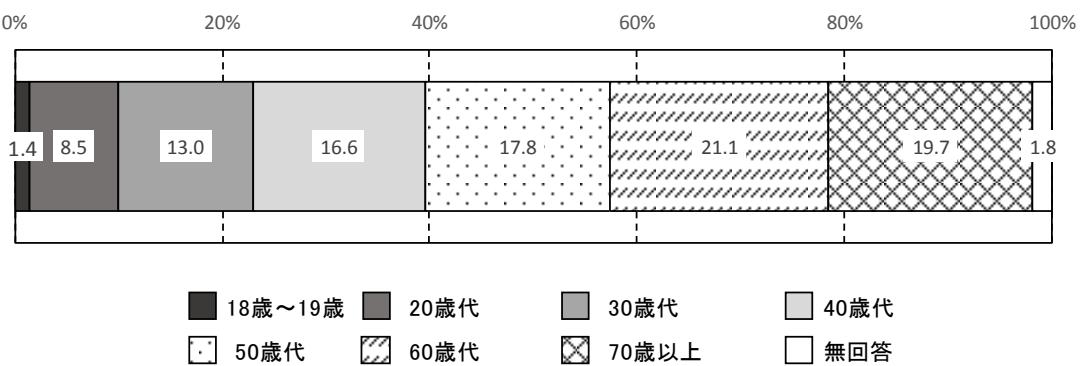
回答者数(n = 1,533)



F-2 年代

図 F-2 年代

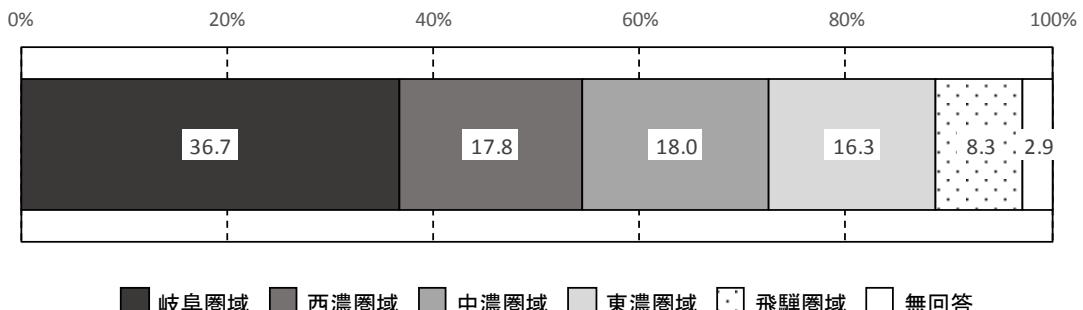
回答者数(n = 1,533)



F-3 居住圏域（5分類）

図 F-3 居住圏域（5分類）

回答者数(n = 1,533)

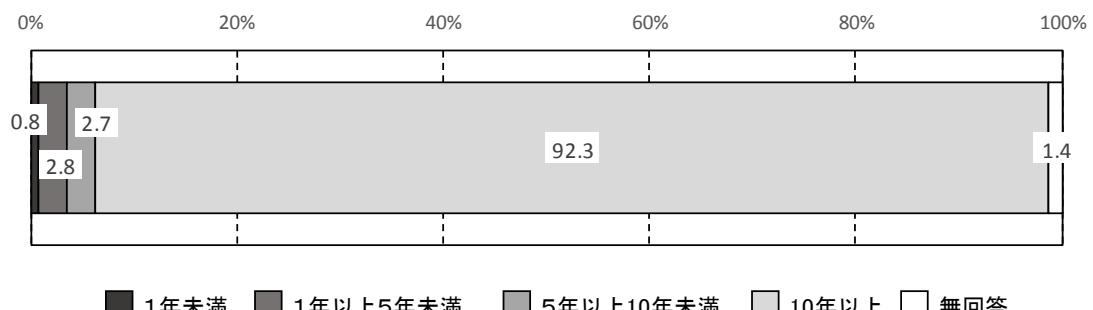


岐阜圏域 (岐阜市・羽島市・各務原市・山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町・北方町)
 西濃圏域 (大垣市・海津市・養老町・垂井町・関ヶ原町・神戸町・輪之内町・安八町・
 揖斐川町・大野町・池田町)
 中濃圏域 (関市・美濃市・美濃加茂市・可児市・郡上市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・
 八百津町・白川町・東白川村・御嵩町)
 東濃圏域 (多治見市・中津川市・瑞浪市・恵那市・土岐市)
 飛驒圏域 (高山市・飛驒市・下呂市・白川村)

F-4 居住年数

図 F-4 居住年数

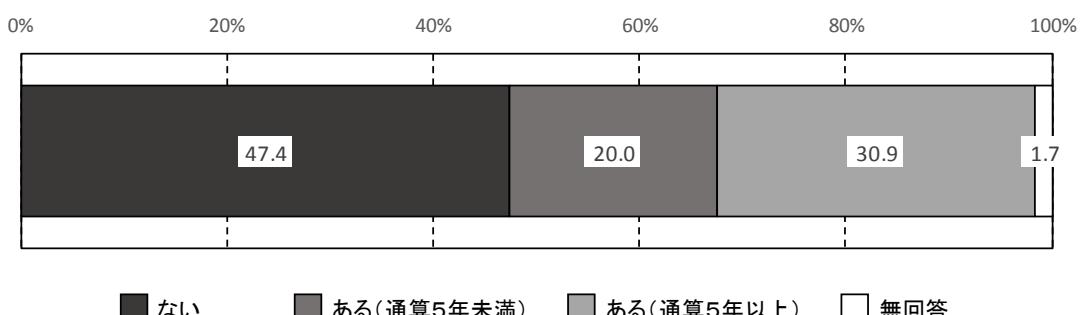
回答者数(n = 1,533)



F-5 県外居住経験の有無

図 F-5 県外居住経験の有無

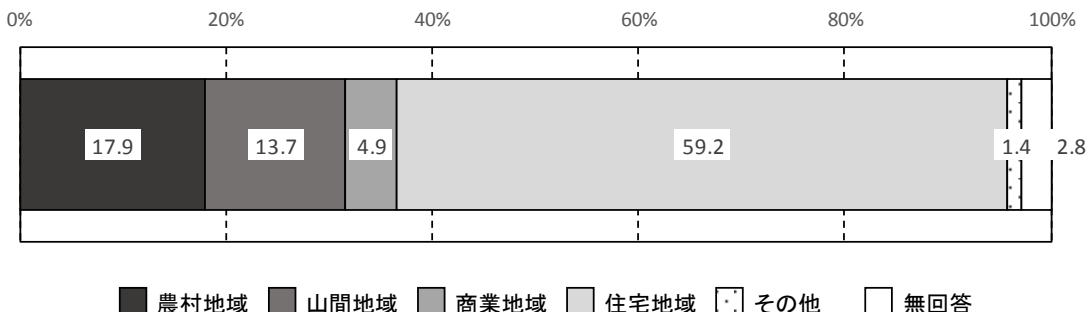
回答者数(n = 1,533)



F-6 居住地周囲の環境

図 F-6 居住地周囲の環境

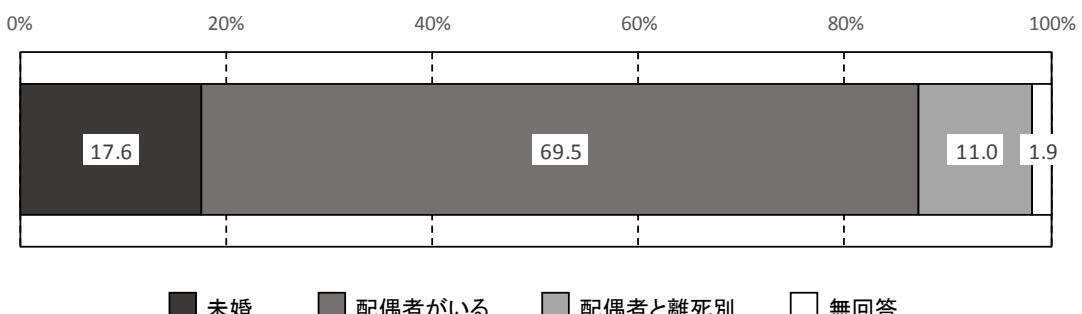
回答者数(n = 1,533)



F-7 配偶者の有無

図 F-7 配偶者の有無

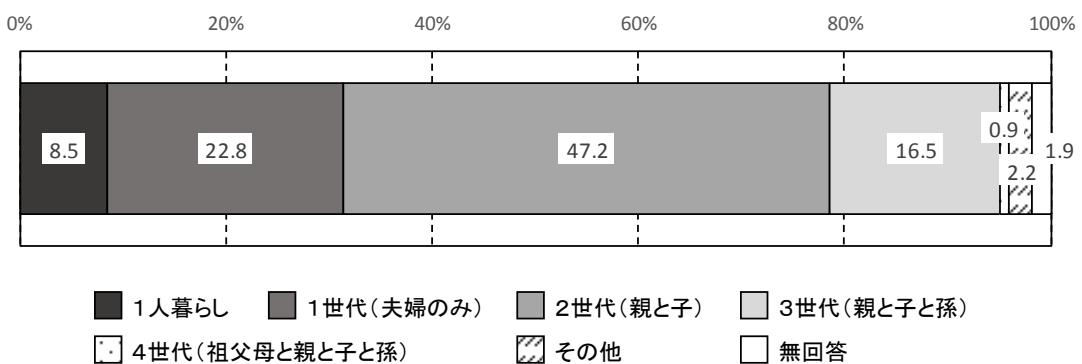
回答者数(n = 1,533)



F-8 家族形態

図 F-8 家族形態

回答者数(n = 1,533)

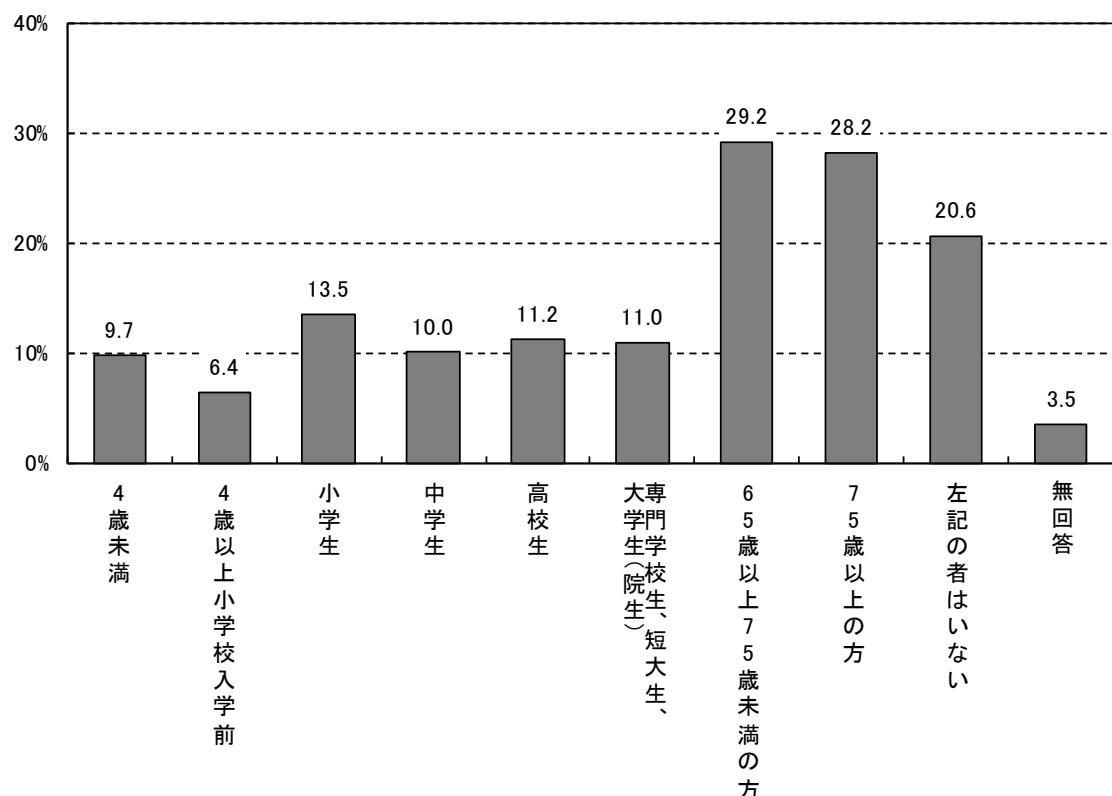


F-9 家族構成

図 F-9 家族構成

回答者数(n = 1,533)

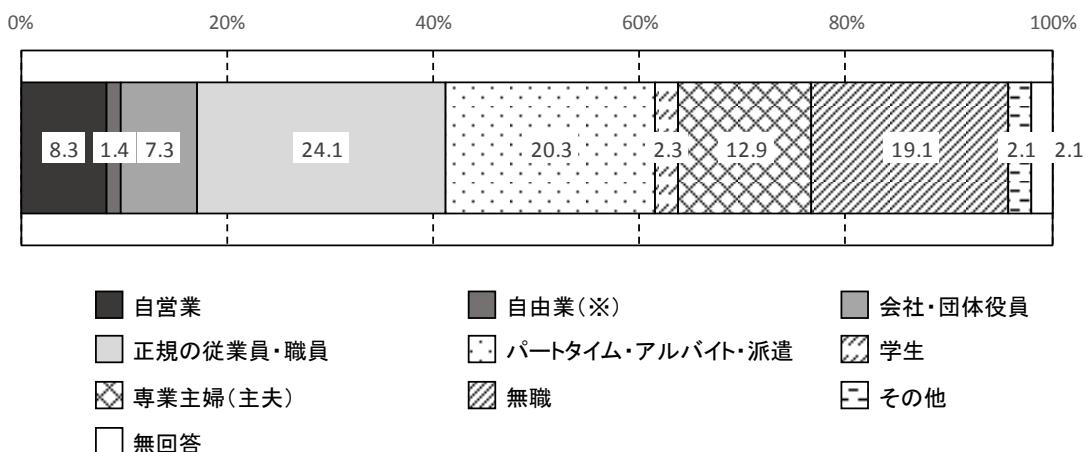
総回答数(N = 2,198)



F-10 職業

図 F-10 職業

回答者数(n = 1,533)

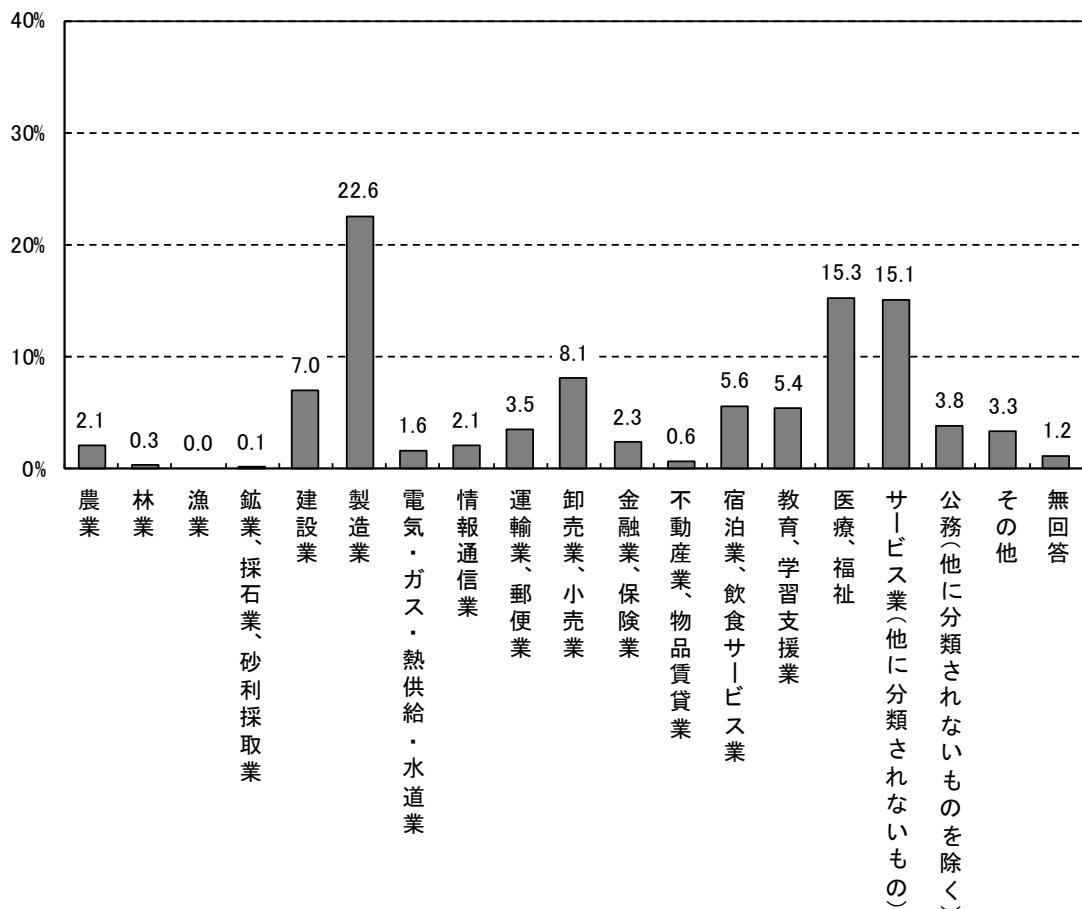


※ 自由業:一定の雇用関係によらず、勤務時間その他の制約を受けない職業で、作家、弁護士、医師、会計士、税理士、芸術家など

F-11 業種

図 F-11 業種

回答者数(n = 943)(※)

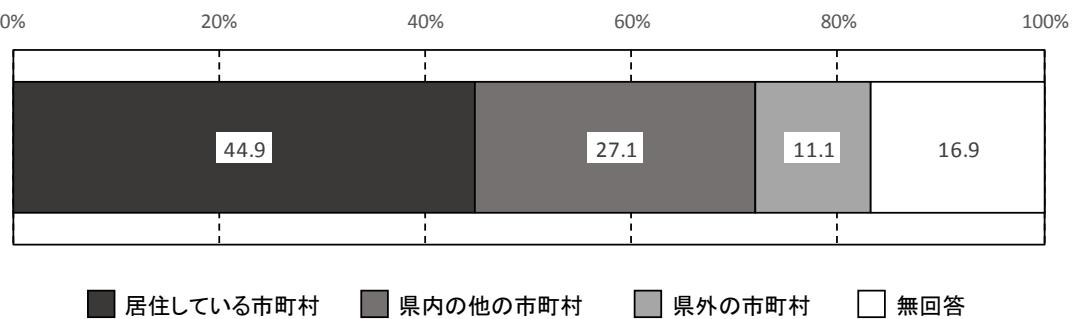


※「F10 職業」で、自営業、自由業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣と答えた方のみ

F-12 通勤、通学先

図 F-12 通勤、通学先

回答者数(n = 978)(※)



※「F10 職業」で、自営業、自由業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣、学生と答えた方のみ